

### 第3章 医療施設調査・病院報告

#### 1 施設数

平成26年10月1日現在の病院数は52施設（精神科病院8施設、一般病院44施設）で、前年に比べ1施設減少した。一般診療所は723施設で、前年に比べ4施設減少した。病床の有無でみた一般診療所数は、前年と比べて有床が1施設、無床が3施設減少した。歯科診療所は274施設で、前年に比べ5施設減少した（表3-1）。

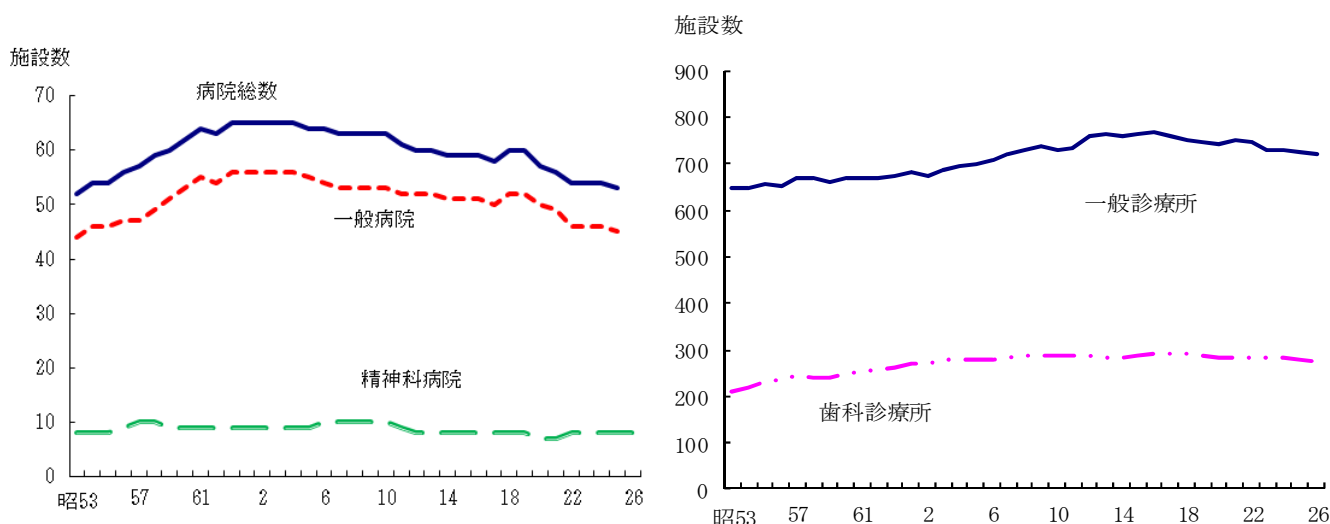
表3-1 医療施設の種類別に見た施設数

	施設数			構成割合 (%)	
	平成26年	平成25年	増減数	平成26年	平成25年
総数	1,049	1,059	△ 10	100.0	100.0
病院	52	53	△ 1	5.0 (100.0)	5.0 (100.0)
精神科病院	8	8	-	(15.4)	(15.1)
結核療養所	-	-	-	(-)	(-)
一般病院	44	45	△ 1	(84.6)	(84.9)
一般診療所	723	727	△ 4	68.9 (100.0)	68.6 (100.0)
有床	48	49	△ 1	(6.6)	(6.7)
無床	675	678	△ 3	(93.4)	(93.3)
歯科診療所	274	279	△ 5	26.1	26.3

注：（ ）内の数値は病院、一般診療所の総数を100とした場合の構成割合である。

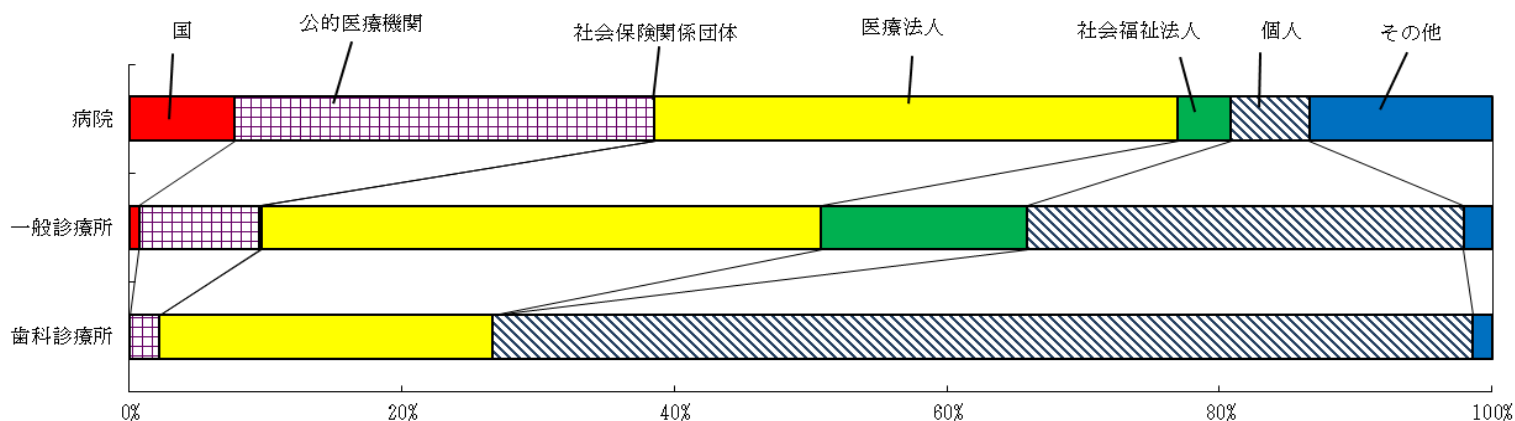
病院数の年次推移をみると、一般病院は昭和61年までは年々増加していたが、昭和63年から平成4年の65施設をピークに緩やかな減少傾向にある。精神科病院数は7～10施設で横ばいに推移している。一般診療所は平成16年までは緩やかな増加傾向にあったが、平成17年から減少傾向にある。歯科診療所は、緩やかな増加傾向にあったが平成18年をピークに減少に転じている（図3-1）。

図3-1 医療施設数の年次推移



医療施設の開設者割合をみると、病院は最も多いのが医療法人の 38.5%で、ついで県、市町村等の公的医療機関の 30.8%である。一般診療所は平成 10 年には個人が 5 割、医療法人が 3 割弱を占めていたが、年々個人の占める割合が減少し、医療法人の占める割合が増加したため、平成 20 年には医療法人が個人より多くなった。一般診療所における平成 26 年の状況は、医療法人が 41.1%、個人が 32.1%である。歯科診療所は大部分が個人で、71.9%を占めており、ついで医療法人が 24.5%となっている（図 3-2）。

図 3-2 医療施設の開設者割合（%）



【開設者の分類の変更点】

平成 26 年 4 月 1 日に独立行政法人年金・健康保険福祉施設整理機構（RF0）が独立行政法人地域医療機能推進機構（JCHO）に改組されたことに伴い開設者の分類を以下のとおり変更した。

	平成26年・変更後	平成25年・変更前
病院	国（独立行政法人地域医療機能推進機構）	社会保険関係団体 （旧全国社会保険協会連合会 旧厚生年金事業振興団 旧船員保険会）
一般診療所	国（独立行政法人地域医療機能推進機構） その他（その他の法人）	社会保険関係団体（旧全国社会保険協会連合会） 社会保険関係団体（旧船員保険会）

人口 10 万対施設数を前年と比べると、歯科診療所は 0.4 減少し、一般診療所は 0.1 増加した。全国と比べると、病院は 0.8、一般診療所は 24.6 高く、歯科診療所は 14.7 低くなっている（表 3-2）。

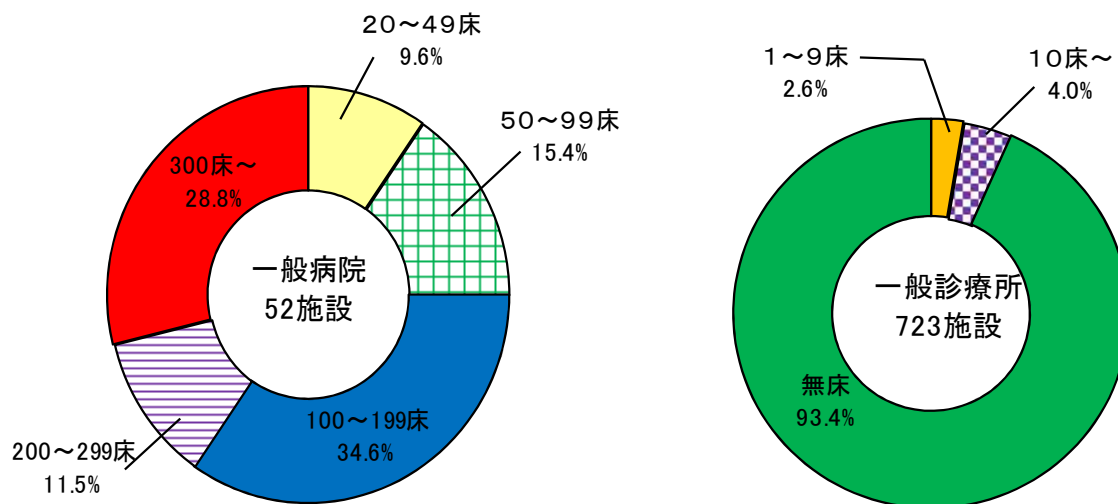
表 3-2 人口 10 万対医療施設数

	島根県		全国
	平成26年	平成25年	平成26年
病院	7.5	7.5	6.7
一般診療所	103.7	103.6	79.1
歯科診療所	39.3	39.7	54.0

一般病院を病床規模別にみると、20～49床が9.6%、50～99床が15.4%、100～199床が34.6%、200～299床が11.5%、300床以上が28.8%であった。

一般診療所は1～9床が2.6%、10床以上が4.0%、残りの93.4%は無床である（図3-3）。

図3-3 一般病院、一般診療所の病床規模別割合



## 2 病床数

平成 26 年 10 月 1 日現在の病院の病床数は前年に比べ 45 床減少した。病床の種別みると、精神病床が 52 床、一般病床が 30 床それぞれ減少し、療養病床が 37 床増加した。また、一般診療所の病床数は前年から 21 床減少した（表 3-3）。

表 3-3 医療施設の種別による病床数

	病 床 数			構成割合 (%)	
	平成26年	平成25年	増減数	平成26年	平成25年
総 数	11,548	11,614	△ 66	100	100
病 院	11,003	11,048	△ 45	95.3 (100.0)	95.1 (100.0)
精神病床	2,324	2,376	△ 52	(21.1)	(21.5)
感染症病床	30	30	-	(0.3)	(0.3)
結核病床	33	33	-	(0.3)	(0.3)
療養病床	2,274	2,237	37	(20.7)	(20.2)
一般病床	6,342	6,372	△ 30	(57.6)	(57.7)
一 般 診 療 所	545	566	△ 21	4.7	4.9
歯 科 診 療 所	-	-	-	-	-

注：（）内の数値は病院の病床数総数を100とした場合の構成割合である。

人口 10 万対病床数を前年と比べると、病院では、精神病床が 5.1 減少し、療養病床が 7.6、一般病床が 2.2 増加した。

また、一般診療所は前年より 2.4 減少した。

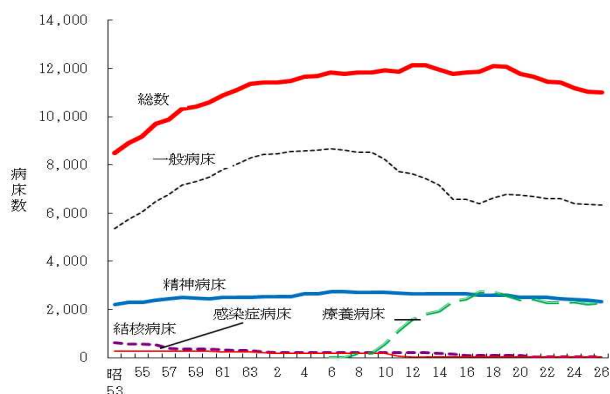
病院における人口 10 万対病床数は、全国よりかなり高くなっている（表 3-4）。

表 3-4 人口 10 万対病床数

	島根県		全国
	平成26年	平成25年	平成26年
病 院	1,578.6	1,573.8	1,234.0
精神病床	333.4	338.5	266.1
感染症病床	4.3	4.3	1.4
結核病床	4.7	4.7	4.7
療養病床	326.3	318.7	258.2
一般病床	909.9	907.7	703.6
一 般 診 療 所	78.2	80.6	88.4

病院の病床数の推移をみると、総数は緩やかな上昇傾向にあったが、平成 18 年をピークに減少に転じた。一般病床は平成 10 年以降、療養病床の増加に伴い減少傾向にある。一方、療養病床は平成 8 年以降、年々増加していたが、平成 18 年の 2,740 床をピークに減少している（図 3-4）。

図 3-4 病床の種別による病院の病床数



注:1) 「一般病床」は、昭和 62 年～平成 4 年は「その他の病床」、平成 6 年～平成 12 年は「その他の病床(療養型病床群)をのぞく」、平成 13・14 年は「一般病床」及び「経過的旧その他の病床(経過的旧療養型病床群をのぞく)」である。

注:2) 「療養病床」は、平成 12 年までは「療養型病床群」であり、平成 13・14 年は「療養病床」及び「経過的旧療養型病床群」である。

### 3 診療科目

県内 52 施設の病院のうち、内科を持つ病院が最も多く 48 施設で、ついで整形外科が 36 施設、外科が 33 施設となっている。平成 25 年と比べると病理診断科等 8 診療科目が増加し、内科等 2 診療科目が減少した。

一般診療所 723 施設のうち、最も多い診療科目は内科の 555 施設であり、ついで小児科が 168 施設、消化器内科（胃腸内科）が 131 施設、循環器内科が 93 施設となっている。平成 25 年と比べると、循環器内科等 9 診療科目が増加し、内科等 24 診療科目が減少した（表 3-5）。

表 3-5 診療科目別にみた病院数、一般診療所数（重複計上）

	病 院			一 般 診 療 所		
	平成26年	平成25年	増減数	平成26年	平成25年	増減数
内科	48	48	-	555	561	△ 6
呼吸器内科	16	15	1	39	35	4
循環器内科	24	22	2	93	98	△ 5
消化器内科 (胃腸内科)	21	18	3	131	136	△ 5
腎臓内科	6	5	1	2	5	△ 3
神経内科	32	31	1	28	32	△ 4
糖尿病内科 (代謝内科)	5	4	1	11	13	△ 2
血液内科	3	3	-	-	2	△ 2
皮膚科	22	23	△ 1	51	49	2
アレルギー科	2	2	-	34	35	△ 1
リウマチ科	3	3	-	19	17	2
感染症内科	-	-	・	-	1	△ 1
小児科	26	26	-	168	176	△ 8
精神科	22	22	-	50	52	△ 2
心療内科	6	6	-	30	34	△ 4
外科	33	33	-	65	77	△ 12
呼吸器外科	8	8	-	-	-	・
循環器外科 (心臓・血管外科)	7	7	-	-	1	△ 1
乳腺外科	3	3	-	2	-	2
気管食道外科	-	-	・	-	2	△ 2
消化器外科 (胃腸外科)	2	2	-	3	5	△ 2
泌尿器科	21	21	-	22	22	-
肛門外科	4	4	-	16	14	2
脳神経外科	14	14	-	10	8	2
整形外科	36	36	-	57	56	1
形成外科	7	7	-	7	8	△ 1
美容外科	-	-	・	3	4	△ 1
眼科	21	21	-	49	50	△ 1
耳鼻いんこう科	22	22	-	28	29	△ 1
小児外科	3	3	-	2	2	-
産婦人科	16	16	-	18	17	1
産科	1	2	△ 1	2	2	-
婦人科	5	5	-	14	14	-
リハビリテーション科	30	30	-	54	60	△ 6
放射線科	22	21	1	21	28	△ 7
麻酔科	21	21	-	12	14	△ 2
病理診断科	6	-	6	-	-	・
臨床検査科	1	1	-	-	-	・
救急科	1	1	-	-	1	△ 1
歯科	6	6	-	6	5	1
矯正歯科	-	-	・	-	-	・
小児歯科	-	-	・	-	-	・
歯科口腔外科	12	12	-	-	-	・

#### 4 利用状況

平成 26 年の 1 日平均在院患者数は 8,876 人であり、前年から 96 人減少した。うち、精神科病院は 32 人、一般病院は 64 人減少した。1 日平均新入院患者数は 285 人で、前年から 6 人減少した。1 日平均退院患者数は 286 人で、前年から 6 人増加した。1 日平均外来患者数は 7,341 人で、前年から 130 人減少した（表 3-6）。

表 3-6 病院・病床の種類別にみた 1 日平均在院・新入院・退院・外来患者数

	1 日平均在院患者数			1 日平均新入院患者数		
	平成26年	平成25年	増減数	平成26年	平成25年	増減数
病院 総数	8,876	8,972	△ 96	285	279	6
精神科病院	1,559	1,591	△ 32	5	5	-
一般病院	7,317	7,381	△ 64	281	275	6
病床 総数	8,876	8,972	△ 96	285	279	6
精神病床	2,031	2,098	△ 67	8	8	-
感染症病床	-	-	-	-	-	-
結核病床	5	9	△ 4	-	-	-
療養病床	1,961	1,935	26	10	9	1
一般病床	4,879	4,930	△ 51	268	263	5

	1 日平均退院患者数			1 日平均外来患者数		
	平成26年	平成25年	増減数	平成26年	平成25年	増減数
病院 総数	286	280	6	7,341	7,471	△ 130
精神科病院	5	5	-	385	396	△ 11
一般病院	281	275	6	6,955	7,075	△ 120
病床 総数	286	280	6	・	・	・
精神病床	8	8	-	・	・	・
感染症病床	-	-	-	・	・	・
結核病床	-	-	-	・	・	・
療養病床	12	12	-	・	・	・
一般病床	265	259	6	・	・	・

注：端数処理のため、総数と内訳の集計数値が一致しない場合がある。

平成 26 年の病院の病床利用率は、総数が 80.6%、精神病床が 87.4%、療養病床が 86.9%、一般病床が 76.6%、結核病床が 15.9%、感染症病床が 0.1%であった（図 3-5）。

図 3-5 病床の種類別にみた病院病床利用率の年次推移

